

4. 取組メニュー

① 「みち」からみえる風景づくり

山、森、川、海などの紀伊半島の豊かな「自然」を満喫できる「ドライブルート」や熊野古道をはじめとする地域の歴史や文化、暮らしにふれあえる「ウォーキングルート」など、多彩な「みち」を活用しながら世界遺産のある地域にふさわしい風景づくりを進めます。

a. 花植え・清掃の継続

- ・熊野古道をはじめとして、この地域を訪れる人々の旅心のうるおいとなるように、国道42号などの沿道における花の植栽・清掃のほか、ゴミゼロの啓発活動を実施します
- ・花植えや清掃活動にメンバー以外の方の参加も呼びかけ、地域をきれいにしようとする人を増やしながらか活動を継続します



花壇の管理

b. 地域らしさのある景観づくり

- ・地域にみられる休耕田や放置された農地を耕作することで、沿道の良好な景観をつくり出します
- ・桜の苗木植栽など、沿道やその周辺地における「花木による景観づくり」を実施します



清掃活動

c. 看板の規制

- ・国道42号については、屋外広告物沿道景観地区となっているため、違反広告物については設置者を確定するとともに、設置者及び広告主に対する是正指導を行い、景観を阻害する違反広告物をなくしていきます
- ・国道311号周辺の地域における屋外広告物のあり方を検討するとともに、屋外広告物規制に関する周知・啓発を図ります



桜の苗木の植樹

d. 道路修景とビューポイント整備

- ・防護柵の取替え時や新設道路の建設時において、景観に配慮した防護柵を使用したり、周辺と調和するように舗装等を工夫するなどの修景化を行います
- ・熊野灘のリアス式海岸沿いを通る国道311号などにおける眺望の良い場所として、「ビューポイント整備」を行います



ビューポイント整備事例

e. 古道の保全とまち並み景観検討

- ・来訪者に気持ちよく安全に歩いてもらうため、古道の保全ができる制度の準備や、住民の暮らしやすいまち並み景観のあり方について検討します



まち並み景観への配慮

表1 日本風景街道「伊勢熊野みち」:「みち」からみえる風景づくり

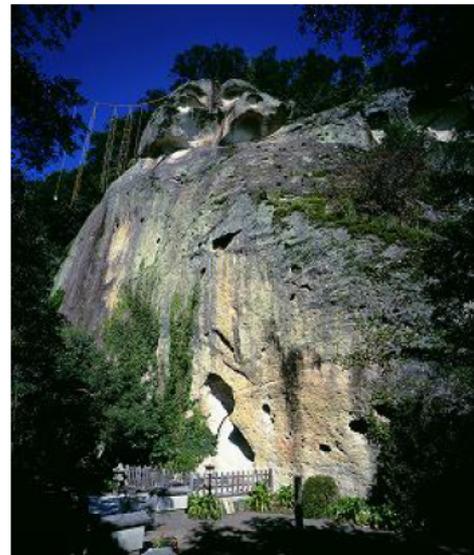
取組テーマ	主な取組メニュー	活動団体	活動エリア
●花植え・清掃の継続	○国道42号などの沿道における花の植栽・清掃のほか、ゴミゼロの啓発活動を実施する ○花植えや清掃にメンバー以外の方も呼びかけ、地域をきれいにしようとする人を増やす	○NPO法人ア・ピース・オブ・コスモス ○うどの地区花づくりグループ ○大内山婦人会ピュアグリーン ○熊野古道花街道／花の窟花街道 ○膳 ○三重県トラック協会南紀支部	国道42号周辺
●地域らしさのある景観づくり	○休耕田や放置された農地を耕作し良好な景観をつくり出す ○沿道やその周辺地での花木による景観づくりを実施する	○古道魚まち歩観会 ○膳 ○風伝情会 ○馬越峠・海山部会	国道42号周辺
●看板の規制	○違反広告物について、設置者を確定し、設置者及び広告主に対する是正指導を行う ○国道311号周辺の地域における屋外広告物のあり方を検討する ○屋外広告物規制に関する周知・啓発を図る	○尾鷲市 ○紀宝町 ○紀北町 ○熊野市 ○大紀町 ○三重県 ○御所町	国道42号 国道311号等
●道路修景とビューポイント整備	○防護柵の取替時、新設道路の建設時に景観に配慮した防護柵の使用や舗装等を工夫する ○国道311号などで眺望の良い「ビューポイント整備」を行う		
●古道の保全とまち並み景観検討	○来訪者に気持ちよく安全に歩いてもらうため、古道の保全を行う ○まち並み景観に関して検討する	○熊野川林感塾 ○古道魚まち歩観会 ○膳 ○東紀州地域活性化事業推進協議会 ○馬越峠・尾鷲市部会 ○馬越峠・海山部会 ○松本峠・熊野市部会	熊野古道 ウォーキングルート

※活動団体の欄は、平成19年3月の時点で、既に各団体の取組メニューに関連していたり、今後、実施する可能性が想定される団体を記載した（敬称略50音順で記載）

※東紀州地域活性化事業推進協議会は、4月1日より東紀州観光まちづくり公社に名称変更する



◆獅子岩と朝陽（国道42号沿い）



◆花の窟

② 訪れる人との交流づくり

「自発的な行動で自分たちの地域を魅力的にする」ことを基本とし、この地域における「癒しの原風景」や「もてなしの心」を育みながら、地域主体の地域資源を活かした交流づくりを進め、「住みたくなる地域」、「訪れたくなる地域」を創りあげていきます。

a. マップと案内板の充実

- ・峠と峠を結ぶまちのみどころなどを示した独自のまち歩きマップを作成します
- ・熊野古道を中心に各地で作ったまち歩きマップをつなぎ、ビューポイントや駐車場・トイレなど、地域的情報を盛り込んだルート全体のマップを作成します
- ・観光客に熊野古道までの道案内や熊野古道周辺の観光資源、あるいは、まちなかへの誘導を行うための地域性のある優れたデザインの案内誘導板を設置します



まちの案内サイン

b. 地域の魅力体験イベントの実施

- ・熊野古道を歩くことはもちろんのこと、自然・文化資産を巡るまち歩きや川下り、また、地域の特産品を使った料理体験など、この地域の魅力にふれあうイベントを行います



マコモの試食イベント

c. 語り部の育成

- ・熊野古道の語り部の人数を増やすとともに、ガイド内容の質的向上や広範囲のガイドができるようにガイド養成講座を行います
- ・地元の人による「まちの語り部」や「外国語のできる語り部」を充実させます



旧旅籠へのギャラリー設置

d. 古民家活用の交流拠点整備

- ・地域の歴史文化資源でもある古民家の有効活用策として、ギャラリーやふれあいの場として開放するほか、飲食・物販店や宿泊施設など、交流拠点としての展開を検討します
- ・過疎化で廃校となった小中学校の有効活用について検討します



廃校の学校活用(島勝浦)

e. ご当地の味の提供

- ・地元の食材を用いた素朴な料理を飲食店と協働して提供したり、イベント時にもてなしたりすることで、この地域の味の魅力を知ってもらうようにします

f. 周遊性の検討

- ・それぞれのまちの魅力をつなぎ、この地域で長く過ごしてもらうための周遊ルートづくりを行います
- ・伊勢から熊野三山まで熊野古道を通して歩いたり、船や自転車で各地を見て回ったりするために、これらの周遊性を検討します



サンマのすだれ干し

表2 日本風景街道「伊勢熊野みち」:訪れる人との交流づくり

取組テーマ	主な取組メニュー	活動団体	活動エリア
●マップと案内板の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○まちのみどころなどを示した独自のまち歩きマップを作成する ○熊野古道を中心に地域の情報を含んだルート全体のマップを作成する ○観光客に道案内や観光資源の紹介、あるいはまちなかへ誘導するための案内誘導板を設置する 	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人ア・ピース・オブ・コスモス ○うどの地区花づくりグループ ○大内山婦人会ピュアグリーン ○熊野川体感塾 ○熊野古道花街道／花の窟花街道 ○古道魚まち歩観会 ○膳 ○風伝峠部会 ○東紀州地域活性化事業推進協議会 ○馬越峠・尾鷲市部会 ○馬越峠・海山部会 ○松本峠・熊野市部会 ○三重県トラック協会南紀支部 	熊野古道 ウォーキングルート 駅、バス停等
●地域の魅力体験イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ○熊野古道を歩くことや自然・文化資産をめぐるまち歩きや川下りを実施する ○特産品を使った料理体験など、地域の魅力にふれあうイベントを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人ア・ピース・オブ・コスモス ○熊野川体感塾 ○古道魚まち歩観会 ○膳 ○東紀州地域活性化事業推進協議会 ○風伝峠部会 ○馬越峠・尾鷲市部会 ○馬越峠・海山部会 ○松本峠・熊野市部会 	熊野古道 ウォーキングルート 各イベント広場
●語り部の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○熊野古道の語り部の人数を増やす ○ガイド内容の質的向上を図るため、ガイド養成講座を行う ○地元の人による「まちの語り部」や「外国語のできる語り部」を充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人ア・ピース・オブ・コスモス ○熊野川体感塾 ○古道魚まち歩観会 ○東紀州地域活性化事業推進協議会 ○風伝峠部会 ○馬越峠・尾鷲市部会 ○馬越峠・海山部会 ○松本峠・熊野市部会 	熊野古道 ウォーキングルート
●古民家活用の交流拠点整備	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の古民家の有効活用策として、ギャラリーやふれあいの場として開放する ○飲食・物販店や宿泊施設など、交流拠点としての展開を検討する ○過疎化で廃校となった小中学校の有効活用について検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人ア・ピース・オブ・コスモス ○熊野川体感塾 ○古道魚まち歩観会 ○馬越峠・尾鷲市部会 ○松本峠・熊野市部会 	熊野古道 ウォーキングルート
●ご当地の味の提供	<ul style="list-style-type: none"> ○地元の食材を用いた料理を飲食店と協働して提供したり、イベント時にもてなしたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人ア・ピース・オブ・コスモス ○熊野川体感塾 ○古道魚まち歩観会 ○膳 ○東紀州地域活性化事業推進協議会 ○馬越峠・尾鷲市部会 ○馬越峠・海山部会 	熊野古道 ウォーキングルート
●周遊性の検討	<ul style="list-style-type: none"> ○まちの魅力をつないで、この地域で長く過ごしてもらうための周遊ルートづくりを行う ○伊勢から熊野三山まで熊野古道を通して歩くことや、船や自転車の利用などの周遊性を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ○NPO法人ア・ピース・オブ・コスモス ○熊野川体感塾 ○古道魚まち歩観会 ○東紀州地域活性化事業推進協議会 ○風伝峠部会 ○馬越峠・尾鷲市部会 ○馬越峠・海山部会 ○松本峠・熊野市部会 	熊野古道 ウォーキングルート 国道42号 国道311号

※活動団体の欄は、平成19年3月の時点で、既に各団体の取組メニューに関連していたり、今後、実施する可能性が想定される団体を記載した（敬称略50音順で記載）

※東紀州地域活性化事業推進協議会は、4月1日より東紀州観光まちづくり公社に名称変更する

③ 広域的なつながりづくり

熊野古道を軸として伊勢と熊野を結ぶことで地域内の連携を強めるとともに、三重県、和歌山県、奈良県をつなぐを具体化していき、全国の日本風景街道の指定ルートとの情報交換や地域内外への情報発信を通じて、全国的なつながりに発展させていきます。

a. 地域内の連携の強化

- ・伊勢と熊野を結ぶ地域内の連携を強め、熊野古道の各峠やそれらを結ぶまちなかのウォークイベントなど、さまざまな協働企画を開催して地域で盛り立てます

b. 多様な媒体による情報発信

- ・熊野古道や観光スポット、伝統行事、地域特産品などの地域資源や、風景街道に関する構成団体の活動などを紹介するパンフレットを、国や地元をはじめ広く一般の方々に向けて作成・配布することにより、訪れる人が来やすい雰囲気づくりを行います。
- ・シンポジウムやフォーラムなど、日本風景街道と地域の取組について考え、議論する場をすることによって、この地域の風景街道を盛り立てていきます
- ・地域のみどころだけでなく、構成団体の取組状況などについて情報発信していくホームページを立ち上げ、運営します

c. 紀伊半島3県での交流

- ・熊野古道に関連する三重県、和歌山県、奈良県の連携を図りながら、各構成団体等の活動情報などを交換する交流会を開催します
- ・隣り合う風景街道の取組が情報連携しやすいように、ホームページのリンクを行います

d. 全国の日本風景街道の仲間との情報交換

- ・国で準備する掲示板や情報誌の活用を行い、全国的な情報交換を図ります



熊野古道センター



熊野川と古道



熊野古道（三木峠口）

表3 日本風景街道「伊勢熊野みち」:広域的なつながりづくり

取組テーマ	主な取組メニュー	活動団体	活動エリア
●地域内の連携の強化	○熊野古道の各峠やそれらを結ぶまちなかのウォークイベントなど、さまざまな協働企画を開催し、地域で盛り立てる	○NPO法人ア・ピース・オブ・コスモス ○うどの地区花づくりグループ ○大内山婦人会ピュアグリーン ○熊野川林感塾 ○熊野古道花街道／花の窟花街道 ○古道魚まち歩観会 ○膳 ○東紀州地域活性化事業推進協議会 ○風伝情陰 ○馬越峠・尾鷲市部会 ○馬越峠・海山部会 ○松本峠・熊野市部会 ○三重県トラック協会熊野支部	全域
●多様な媒体による情報発信	○熊野古道や観光スポット、伝統行事、地域特産品などの地域資源や、風景街道に関する構成団体の活動などを紹介するパンフレットを、国や地元をはじめ広く一般の方々に向けて作成・配布する ○シンポジウムやフォーラムなど、日本風景街道と地域の取組について考え、議論する場を作る ○地域のみどころや構成団体の取組状況などを情報発信していくホームページを運営する		
●紀伊半島3県での交流	○熊野古道に関連する三重県、和歌山県、奈良県の連携を図り、活動情報などを交換する交流会を開催する ○風景街道の取組が情報連携しやすいように、ホームページのリンクを行う		
●全国の日本風景街道の仲間との情報交換	○国で準備する掲示板や情報誌を活用し、全国的な情報交換を図る		

※活動団体の欄は、平成19年3月の時点で、既に各団体の取組メニューに関連していたり、今後、実施する可能性が想定される団体を記載した（敬称略50音順で記載）

※東紀州地域活性化事業推進協議会は、4月1日より東紀州観光まちづくり公社に名称変更する



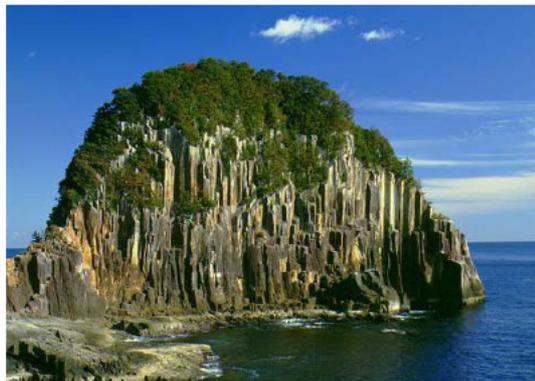
◆ ヤーヤ祭り



◆ 須賀利漁港



◆ 犬戻り峡 ※1

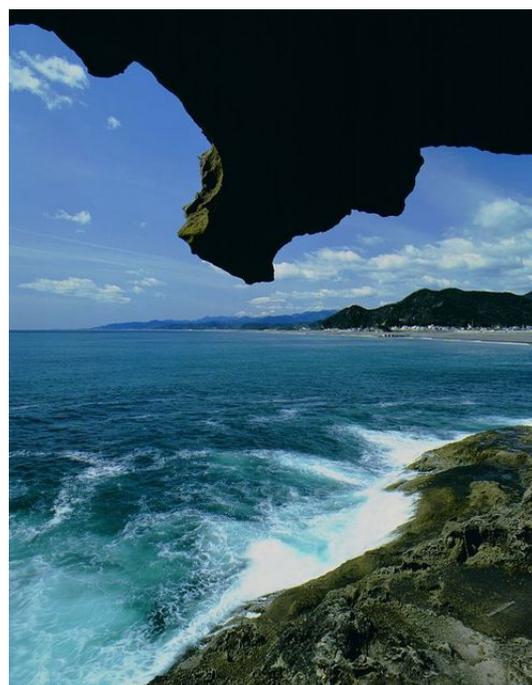


◆ 楯ヶ崎

※1 写真提供：伊勢志摩さきり千選HP



飛雪の滝²



鬼ヶ城と七里御浜



風伝おろし²

²写真提供：紀南地域活性化協議会

■ 主な取組メニュー（一覧表）

活動方針	取組テーマ	主な取組メニュー
<p>① 「みち」からみえる風景づくり</p> <p>山、森、川、海などの紀伊半島の豊かな「自然」を満喫できる「ドライブルート」や熊野古道をはじめとする地域の歴史や文化、暮らしにふれあえる「ウォーキングルート」など、多彩な「みち」を活用しながら世界遺産のある地域にふさわしい風景づくりを進めます。</p>	●花植え・清掃の継続	○国道42号などの沿道における花の植栽・清掃のほか、ゴミゼロの啓発活動を実施する ○花植えや清掃にメンバー以外の方も呼びかけ、地域をきれいにしようとする人を増やす
	●地域らしさのある景観づくり	○休耕地や放置された農地を耕作し良好な景観をつくり出す ○沿道やその周辺地での花木による景観づくりを実施する
	●看板の規制	○違反広告物について、設置者を確定し、設置者及び広告主に対する是正指導を行う ○国道311号周辺の地域における屋外広告物のあり方を検討する ○屋外広告物規制に関する周知・啓発を図る
	●道路修景とビューポイント整備	○防護柵の取替時、新設道路の建設時に景観に配慮した防護柵の使用や舗装等を工夫する ○国道311号などで眺望の良い「ビューポイント整備」を行う
	●古道の保全とまち並み景観検討	○来訪者に気持ちよく安全に歩いてもらうため、古道の保全を行う ○まち並み景観に関して検討する
<p>② 訪れる人との交流づくり</p> <p>「自発的な行動で自分たちの地域を魅力的にする」ことを基本とし、この地域における「癒しの原風景」や「もてなしの心」を育みながら、地域主体の地域資源を活かした交流づくりを進め、「住みたくなる地域」、「訪れたくなる地域」を創りあげていきます。</p>	●マップと案内板の充実	○まちのみどころなどを示した独自のまち歩きマップを作成する ○熊野古道を中心に地域の情報を含んだルート全体のマップを作成する ○観光客に道案内や観光資源の紹介、あるいはまちなかへ誘導するための案内誘導板を設置する
	●地域の魅力体験イベントの実施	○熊野古道を歩くことや自然・文化資産をめぐるまち歩きや川下りを実施する ○特産品を使った料理体験など、地域の魅力にふれあうイベントを行う
	●語り部の育成	○熊野古道の語り部の人数を増やす ○ガイド内容の質的向上を図るため、ガイド養成講座を行う ○地元の人による「まちの語り部」や「外国語のできる語り部」を充実させる
	●古民家活用の交流拠点整備	○地域の古民家の有効活用策として、ギャラリーやふれあいの場として開放する ○飲食・物販店や宿泊施設など、交流拠点としての展開を検討する ○過疎化で廃校となった小中学校の有効活用について検討する
	●ご当地の味の提供	○地元の食材を用いた料理を飲食店と協働して提供したり、イベント時にもてなしたりする
	●周遊性の検討	○まちの魅力をつないで、この地域で長く過ごしてもらうための周遊ルートづくりを行う ○伊勢から熊野三山まで熊野古道を通して歩くことや、船や自転車の利用などの周遊性を検討する
<p>③ 広域的なつながりづくり</p> <p>熊野古道を軸として伊勢と熊野を結ぶことで地域内の連携を強めるとともに、三重県、和歌山県、奈良県をつなぐりを具体化していき、全国の日本風景街道の指定ルートとの情報交換や地域内外への情報発信を通じて、全国的なつながりに発展させていきます。</p>	●地域内の連携の強化	○熊野古道の各峠やそれらを結ぶまちなかのウォークイベントなど、さまざまな協働企画を開催し、地域で盛り立てる
	●多様な媒体による情報発信	○熊野古道や観光スポット、伝統行事、地域特産品などの地域資源や、風景街道に関する構成団体の活動などを紹介するパンフレットを、国や地元をはじめ広く一般の方々に向けて作成・配布する ○シンポジウムやフォーラムなど、日本風景街道と地域の取組について考え、議論する場を作る ○地域のみどころや構成団体の取組状況などを情報発信していくホームページを運営する
	●紀伊半島3県での交流	○熊野古道に関連する三重県、和歌山県、奈良県の連携を図り、活動情報などを交換する交流会を開催する ○風景街道の取組が情報連携しやすいように、ホームページのリンクを行う
	●全国の日本風景街道の仲間との情報交換	○国で準備する掲示板や情報誌を活用し、全国的な情報交換を図る

■ 構成団体の取組メニュー

日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会を構成する活動団体が、主に主体となって実施する取組メニューを掲載します。(敬称略、50音順で掲載)

NPO法人 ア・ピース・オブ・コスモス

取組の内容	
1	国道42号、国道311号沿道における紫陽花の管理
2	街並み保存の勉強会の開催(2月17日に熊野古道センターで第1回を実施)
3	古民家改修(交流拠点として活用)
4	子育て支援の体験学習
5	民泊システムに関する特区申請(古道の参詣者に対するコンダクターシステムの構築)
6	紀北地区のまちなみ調査

うどの地区花づくりグループ

取組の内容	
1	花の苗の育成
2	駅前花壇、町内16箇所の花壇の管理

大内山婦人会ピュアグリーン

取組の内容	
1	荷坂峠広場の清掃活動
2	国道42号の花壇の管理

熊野川体感塾(3月17日まで、部会活動は、「熊野川部会」として活動)

取組の内容	
1	熊野古道ルートへの復元
2	熊野古道の維持管理システムづくり
3	照葉樹林や滝などの自然を楽しむルートとして林道などを活用
4	熊野古道沿いの清掃活動
5	熊野古道沿いの植生の復元
6	熊野古道復元とあわせた周遊ルートづくり(小鹿～浅里)
7	熊野古道の広域ネットワークづくり(本宮～新宮など)
8	投網漁見学による川とのふれあいづくり
9	不法投棄予防策の検討(看板やステッカーの検討)
10	熊野川沿いの植生の復元
11	企業に対する環境配慮へ呼びかけ(ダム放流方法・不要な施設の取り壊しなど)
12	和田の広場、休憩施設・トイレなどの交流施設整備
13	来訪者と住民が交流できる仕掛けづくり(自然、歴史の体験など)
14	川丈地区の味覚(魚、山菜など)を味わえる仕掛けづくり
15	交流拠点の維持管理システムづくり(飛雪の滝、和田周辺)
16	キャンプ場の駐車場の整備(飛雪の滝、和田周辺)

17	駐車場の増設整備（飛雪の滝、和田周辺）
18	野外学習の場としての活用（旧校舎の活用）
19	宿泊、休憩、食事を楽しむ場としての活用（旧校舎の活用）
20	語り部の育成（船頭の教育）
21	地域の歴史・文化の継承
22	熊野古道の研究（不明ルート）
23	事業の指針とPR戦略づくり（子どもなど地元へのPRも強化）
24	イベント開催（世界遺産の意義の周知）
25	案内板の設置
26	周遊ルートの設定
27	案内マップの作成
28	語り部による案内

熊野古道花街道／花の窟花街道

取組の内容	
1	国道 42 号の花壇の管理
2	清掃活動

古道魚まち歩観会

取組の内容	
1	古民家の保存とまちなみ修景（「魚まち」まちなみづくりの作法）
2	身近な風景づくりへの取り組み
3	海難、水難除けのシンボルの設置
4	まちを改善していくための意見箱の設置
5	まちかど博物館の充実
6	休憩所、茶店の設置（空き家、空き店舗、古い蔵の活用など）
7	住民がもてなす土産物店、オープンカフェなどの設置
8	縁台の設置、活用
9	食のポイントづくり
10	燈籠（灯り）の設置（古道客が歩く主要な道路）
11	並木、街路樹などによる四季の景観づくり
12	まちなみ散策コースの設定（海岸通、片上池周辺の周遊など）
13	“ 浜口熊嶽ゆかりの地 ” めぐりコースの設定
14	レンタサイクルの導入
15	駐車場の整備（休耕田の活用など）
16	子どもへの地域の魅力の継承
17	ガイド・語り部の育成
18	「くまの学講座」などのセミナーによる地域住民の啓発
19	もてなしのマナー・ルールづくりと周知
20	道の駅「マンボウ」内の語り部コーナー・体験コーナーの設置
21	赤羽川の親水空間づくり
22	まちの産業が体験できる施設探し、仕組みづくり
23	早朝の魚市場の見学
24	港市体験イベントの開催
25	まち歩きマップ、観光マップ、パンフレットの作成（英語訳付、避難所情報など）

26	統一された案内サインの設置 (ピクトグラム(絵文字)の活用、拡大図による案内、英語訳付、ローマ字の併記)
27	町内のサービス情報案内の設置
28	言い伝えを載せた立て札の設置
29	伝統行事の案内
30	古道と海との出会いシンポジウム
31	方言のガイドブックの作成
32	魚まち新聞、古道魚まち歩観会HPによる地域内外への情報発信
32	FM放送局の開設(地域情報、催事情報、防災情報など)
33	プロモーションビデオの作成(散策コース設定、学習教材など)

膳

取組の内容	
1	県道脇の公園の花壇の管理
2	休耕田や自然林の回復
3	蕎麦の栽培、蕎麦打ち試食体験会の実施
4	マコモ栽培、試食会の実施
5	手作り案内板の設置
6	その他、地域に根ざしたイベント活動
7	休耕田でのピオトープ設置

東紀州地域活性化事業推進協議会(4月1日より「東紀州観光まちづくり公社」に名称変更)

取組の内容	
1	集客交流事業(地域情報発信、都会へのエージェントセールス、メディア交流会等への参加や都市部での「みえ熊野講座」の開催など)
2	熊野古道の利便性の向上への取組(「語り部友の会」の運営や語り部ガイド養成講座の開催など)
3	みえ熊野学事業(「みえ熊野学研究会」の運営、研究誌の刊行、みえ熊野学フォーラムの開催など)
4	人材育成事業(東紀州活性化大学の取組、地域リーダー等への活動支援など)
5	熊野古道周辺の地域資源の発掘
6	「海の熊野古道」を活かした観光交流への取組
7	エコツーリズム、地域内観光・宿泊の推進
8	市場調査、新商品の開発支援及び物産展開催等による販路開拓
9	「紀勢道整備に伴う地域活性化検討委員会」の運営

風伝峠部会

取組の内容	
1	川舟と町道を利用した回廊の整備・管理(田戸、木津呂間)
2	案内サイン等の設置
3	遊休農地の活用
4	通り峠の資源活用
5	高チラ山及び鷺の巣池への登山道の整備

6	熊野古道沿いの自然草木のネームプレートなどの設置
7	地域産品直売所の充実
8	まちかど博物館（資料館）の充実
9	板屋商店街における空き屋・空店舗の活用
10	トロッコ電車の活用（湯の口～瀬流荘～鉢山跡～板屋商店街～資料館）
11	なかよしステーションにおける案内・交流センターの設置
12	紀州犬の牧場整備
13	宿泊施設の整備（休校舎等の活用）
14	千枚田における体験農業の充実（農耕文化の伝承と後継者対策）
15	「熊野古道ものがたり」のCGイメージの作成（風伝峠から昔見えた海の風景など）
16	観光ガイドや語り部の育成
17	ボランティアの組織化（語り部、草刈）
18	3つの峠のPR（横垣・風伝・通り峠）
19	国道311号の通称名登録（“熊野廻道”、“参詣道”など）
20	自然美と観光施設のPR（朝霧、千枚田、星空、岩清水、トロッコ、瀬峡、温泉、足湯など）
21	千枚田へのライブカメラの設置
22	観光マップの作成
23	古道ウォークの開催（3峠巡り、「ほたる」と「かえる」の歌声ナイトウォークの開催など）

馬越峠・尾鷲市部会

取組の内容	
1	食べ歩きが楽しめる飲食店づくり（魚を気軽に食する場づくり）
2	土産物店づくり
3	散策（ウォーキング）ルートの位置づけ・整備
4	商店街全体で客へのもてなし・案内
5	イタダキ市の充実（開催回数の増加、開催時間の延長など）
6	港のクリーンアップ
7	港を観光スポットとして整備・活用
8	中井町通りや駅前通りの商店街の改修
9	空き屋を利活用した交流空間の場づくり（飲食店、土産物店、休憩所など）
10	各商店の“あかり”などによる演出（ちょうちん、あんどんなど）
11	古文書などの保存・活用
12	古道沿いに残された歴史的な趣のある町家などの保全・活用
13	歴史的な趣のある町家などを保全に関する検討
14	各種資源の掘り起こしと管理・活用の検討
15	サイン・案内板の整備と散策ルートの景観の統一
16	トイレ、休憩所などの整備（足湯や銭湯などの活用含む）
17	空き屋などの活用による宿泊所の整備（規制緩和）
18	駐車場の整備
19	古道の整備と雰囲気づくり
20	北川及びまちのクリーンアップ及び、北川橋のイメージアップ（灯籠の復活）
21	古道センターの活用
22	プロモーションビデオやインターネットによるPR
23	古道コンサートの開催
24	古道町なかウォークの開催（中井町～林町・朝日町～矢浜など）
25	まちかどHOTセンターの充実
26	情報誌、かわら版、観光マップの作成
27	タウンガイドの育成と運営組織の確立

馬越峠・海山部会

取組の内容	
1	地域の特色ある食のメニュー開発、作物の栽培
2	地域の食文化を体験できる場づくり（干物の作り方指導など）
3	海（釣りなど）、山（滝めぐり、森林浴など）、川（キャンプ、カヌーなど）を巡って楽しむ自然体験メニューづくり
4	自然栽培の薬草畑づくり、薬草風呂などへの活用
5	ヒノキ美林の保全、活用（植林体験、間伐材利用など）
6	地域特産品の開発、販売
7	銚子川のおいしい水が飲める水飲み場の設置
8	のろし台をイベントなどに活用
9	郷土芸能、民話などの学習の場づくり
10	歴史・文化を紹介するサインの設置
11	種まき権兵衛をモチーフとしたまちなみ景観づくり
12	夜間照明による景観向上
13	石の文化を活かした景観づくり（石畳、石垣、道標など）
14	銚子川の景観向上
15	熊野古道の調査、発掘、活用（鷲下、越ヶ岩周辺など）
16	始神峠から馬越峠を歴史探訪コースとして設定
17	世界遺産のコアゾーン、バッファゾーンにおける森林管理方法検討
18	種まき権兵衛の里、キャンプ inn 海山などを拠点としたトレッキングコースの設定、整備
19	トレッキングマップの作成（巡回時間などの情報を掲載）
20	レンタサイクルの取組みの充実（キャンプ inn 海山）
21	サイクリングマップの作成
22	ゴミ持ち帰りの呼びかけの強化（看板設置など）
23	空き地などを駐車場として活用
24	種まき権兵衛の里を活動交流拠点として活用
25	馬越峠沿いのベンチの増設設置（林道交差部分）
26	休憩、交流の場となるあずまやの設置
27	温浴施設の整備
28	観光案内サイン、誘導案内サインの設置
29	英語による案内誘導（サイン設置、パンフレットの作成など）
30	インターネット、PRビデオ、マスコミの活用などによる情報発信
31	語り部の育成
32	地域住民による道案内の実施

松本峠・熊野市部会

取組の内容	
1	まちなみ保全のルールづくり
2	古い建物の保全
3	あんどんによるまちの雰囲気づくり
4	特産物の買い物街としての賑わいづくり（干し物、みかん、山の幸、海の幸：風情のある物の売り方）
5	花の窟歴史ふれあい館の整備（有馬の歴史、花の窟にまつわる資料展示・収納など）
6	紀南ツアーデザインセンター蔵の民具類漁具類収容展示室としての活用
7	昔からの生活道具の利用
8	六方の館の建物内部の充実
9	テーマ性を持たせた資料館づくり（商工会議所、歴史民俗資料館、古民家利用など）
10	空き家等を利用した憩いとふれあいの場づくり
11	ベンチなどの休憩施設の設置

12	ギャラリーの設置（10箇所程度）
13	まちなかにおけるトイレの整備（民家のトイレ貸し出しも対象）
14	旧旅籠などを活用した住み手と古道客とのふれあいの場の整備（お茶の接待、トイレ、休憩、お土産販売）
15	案内所の設置（立て看板で対応）
16	史跡・人紹介の立て札の設置（笛吹橋、吉田庄太夫、森本佐兵衛など）
17	ギャラリーの利用や語り部による木本湊の紹介（江戸～明治初期の木本の賑わいを紹介）
18	案内板の設置
19	まち巡りマップの作成
20	テーマに応じた散策ルートの設定（旧街道、ひまい道）
21	語り部の育成（語り部養成講座の開設）、自分たちのまちの学習

三重県トラック協会南紀支部

取組の内容	
1	道路の清掃活動
2	トラック運転者に対するマナー向上のための活動